

令和 8 年度

中高年世代活躍応援プロジェクト広島県協議会事業実施計画

令和 8 年 7 月

中高年世代活躍応援プロジェクト広島県協議会

1 趣旨

いわゆる就職氷河期世代への対応については、骨太の方針 2019 に盛り込まれた「就職氷河期世代支援プログラム」の下、令和 2 年度より広島県内の関係機関や団体を構成員として当該世代の活躍の促進を図るための事業計画の策定、進捗管理等を統括する「就職氷河期世代活躍支援ひろしまプラットフォーム」（以下「ひろしま P F」という。）を設置し、令和 6 年度までの約 5 年間の集中支援に取り組んできた。

今般、令和 6 年度に閣議決定された骨太の方針 2024 においては、令和 7 年度以降「この世代の支援は、中高年層に向けた施策を通じて、相談、リ・スキリングから就職、定着までを切れ目なく効果的に支援する」とされたことに伴い、ひろしま P F は「中高年世代活躍応援プロジェクト広島県協議会」（以下「広島県協議会」という。）へ名称を改め、中高年世代活躍応援プロジェクト広島県協議会事業実施計画（以下「事業計画」という。）を策定し、就職氷河期世代を含む不安定な就労を繰り返し就職に支援が必要な中高年世代（以下「中高年世代」という。）に対象を拡大した上で、引き続き各界一体となって支援に取り組む気運を醸成するとともに、個々の実情に応じた支援により安定就労をはじめ、多様な社会参加の実現につなげ、中高年世代の活躍の場が広がるよう取組を推進することとする。

2 事業計画実施期間

令和 8 年 7 月 16 日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日

3 事業計画支援対象者

事業計画においては、次の（１）～（３）に掲げる方を支援対象者とし、それぞれが個別に抱える課題に応じた支援を展開することとする。

（１）不安定な就労状態にある方

- ・ 正規雇用を希望していながら不本意に非正規雇用で働いている方
- ・ 前職が非正規雇用で、正規雇用を希望する完全失業者など

広島県における「不安定な就労状態にある方」（35 歳～59 歳）は、20,100 人（人口比 2.2%）と推計される。（※ 1）

（２）就業を希望しながら長期にわたり無業の状態にある方

- ・ 非労働力人口のうち、家事も通学もしておらず就業を希望している方

広島県における「長期にわたり無業の状態にある方」（35 歳～59 歳）は、10,100 人（人口比 1.1%）と推計される。（※ 2）

(3) 社会参加に向けた支援を必要とする方

- ・ ひきこもりの状態にある方、生活困窮に陥っている方など、就労支援だけでなく、社会参加に向けた支援を必要としている方

広島県における「ひきこもり状態にある方」は、15 歳～39 歳の 13,500 人（人口比 2.05%）、40～64 歳の 18,100 人（人口比 2.02%）と推計される。

(※3)

- ※1 出典：総務省「令和4年就業構造基本調査」、JILPT「若者者の就業状況・キャリア・職業能力開発の現状④」
「不安定な就労状態にある方」：現在非正規雇用で働いており、「現職の雇用形態に就いている理由」について「主に正規の職員・従業員の仕事がないから」と答えた者
- ※2 出典：注1と同じ。
「長期にわたり無業の状態にある方」：無業者のうち求職活動をしていない者で、卒業者かつ通学していず、配偶者なしで家事を行っていない者。主な支援機関となる地域若者サポートステーションの対象年齢（35～49歳）の人数を抽出。JILPTが特別集計したデータを利用。
- ※3 出典：内閣府「こども・若者の意識と生活に関する調査」（令和4年度）で「ふだんどのくらい外出しますか」という設問に対し、次の①～④のいずれかを回答し、かつ、その状態となって6か月以上経つと回答した者。
①自分の趣味に関する用事のときだけ外出する、②近所のコンビニなどには出かける、③自室からは出るが、家からは出ない、④自室からほとんど出ない

4 目標と主な取組

(1) 中高年世代に対する採用・処遇改善や社会参加への支援に関する気運醸成

【全機関・全団体】

ア 社会気運の醸成

広島県協議会が中心となって、社会全体で中高年世代の就職や正社員化、職場定着の促進及び多様な社会参加を支援する気運の醸成を図る。

- ・ 中高年世代を対象とした求人の開拓や就職面接会等への積極的な参加勧奨
- ・ 中高年世代に対する正規雇用化を含む処遇改善の働きかけ

イ 中高年世代、一人ひとりにつながる積極的な広報

中高年世代の「安定就職・社会参加の途を社会全体で用意・応援しています。」というメッセージを本人のみならず家族や関係者に効果的に伝えるため、広報誌、ホームページ等あらゆるルートを通じた積極的な広報を展開する。

(2) 安定就労に向けた支援（不安定な就労状態にある方への支援）

【目標】

正規雇用を希望しながら不安定な就労状態にある方について、現状よりも良い処遇を目指し、正規雇用者を2,500人増やすことを目標とする。

【KPI】

○ハローワーク紹介による中高年世代の不安定就労者等の正社員就職件数 2,854 件

○公的職業訓練修了から 3 か月後の就職率 (※)

公共職業訓練（施設内訓練） 82.5%

公共職業訓練（委託訓練） 75%

求職者支援訓練（基礎コース） 60%

求職者支援訓練（実践コース） 63%

○キャリアアップ助成金活用による正社員転換数 460 件

※全年齢での目標

【取組】

ア ハローワークにおける各種支援の実施

- ・ ハローワーク広島及びハローワーク広島西条に中高年層（ミドルシニア）専門窓口を設置し、安定雇用に向けた伴走型のチーム支援を実施
- ・ 担当者制個別支援によるキャリアコンサルティングの実施
- ・ 中高年世代を対象とした求人の開拓・確保
- ・ 各種セミナー、ミニ面接会の開催
- ・ 安定した就職に役立つ資格・技能等の取得という観点から職業相談を行った上で、公的職業訓練に受講あつせんし、訓練受講中から職場定着までの一貫した就職支援を実施【広島労働局】

イ 民間事業者のノウハウを活かした不安定就労者への就職支援

- ・ 民間事業者による創意工夫を活かした企業説明会の実施、中高年世代の雇入れを検討している企業向けのセミナーの開催のほか、同事業に係る周知及び気運の醸成に係る広報等を実施【委託事業】

【広島労働局】

ウ 業界団体等と連携し、短期間で取得でき、安定就労に有効な資格等の習得を支援

- ・ 求職中の非正規雇用労働者の方が働きながら受講しやすい夜間、土日や e ラーニング等の訓練を無料で提供【広島労働局】

エ 中高年世代に特化した求人開拓、マッチング、助成金の活用促進

- ・ 中高年世代を対象とした限定求人・歓迎求人の開拓・確保や就職面接会等への積極的な参加勧奨

- ・ 特定求職者雇用開発助成金（中高年層安定雇用支援コース）及びトライアル雇用助成金の活用促進に連携して取り組む。
【経済団体・広島労働局・広島県】

オ 職場での実務を通じて適性や業務遂行可能性を見極める機会、座学と実務による訓練機会の提供により、中高年世代の正社員転換を促進

- ・ 非正規雇用労働者が正規雇用労働者に転換することを目的として、企業内での実習（OJT）と教育訓練機関等での座学（OFF-JT）を組み合わせた雇用型訓練（有期実習型訓練）を実施する事業主に対する人材開発支援助成金の活用（訓練期間：2か月以上6か月以下）
- ・ 非正規雇用労働者の企業内キャリアアップを促進するため、正社員化、処遇改善の取組を実施した事業主に対するキャリアアップ助成金（正社員化コース）の活用【経済団体・広島労働局】

カ 「働きたい人全力応援ステーション」において、中高年世代の求職者や求職期間が長期化している求職者等に対して、キャリアコンサルティングから就職までワンストップで伴走型支援を実施する。【委託事業】【広島県】

キ 広島県雇用労働情報サイト「わーくわくネットひろしま」等により中高年世代を含めた全世代に向けた各種支援策を周知する。【広島県】

ク 県立高等技術専門校及び広島職業能力開発促進センターにおいて職業訓練を実施するとともに、その活用を周知する。【広島県・独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構広島支部】

ケ 紙屋町シャレオに「しごとの相談カフェ iroha」を設置し、相談を受けるキャリアカウンセラーと幅広い就職先を開拓するための求人开拓員を配置し、中高年世代及び若者、女性で就職を希望する方を、求人のある企業とマッチングする。【委託事業】【広島市】

コ 「呉しごと相談館」において、就職氷河期世代や中高年齢層を含む幅広い世代に対して、就職に関する相談から就職後のアフターフォローまで伴走型支援を実施する。【委託事業】【呉市】

サ 中小企業の人材課題解決に資するセミナー・ワークショップを開催し、中高年世代を含む多様な人材の活用を促す。【委託事業】【中国経済産業局】

- (3) 就職実現に向けた基盤整備に資する取組（長期にわたり無業の状態にある方への支援）

【目標】

本人やご家族の希望に応じ、地域若者サポートステーション（以下「サポステ」という。）を中心に関係機関が連携して求職活動に踏み出すための支援を行い、就労その他の職業的自立支援につなげることを目指す。

【KPI】

○サポステの支援により就職等につながった件数 249 件

○サポステにおける新規登録者数 340 件

※サポステの対象年齢は 15～49 歳。対象全年齢での目標。

【取組】

ア サポステの取組強化【広島労働局・広島県】

市町のプラットフォーム（以下「市町 P F」という。）へ参画することにより、福祉機関等関係機関との連携体制を構築し、アウトリーチ型支援（出張相談）の実施等を通じて支援対象者の就職・社会参加を実現する。

- ・ 相談体制の整備
- ・ 職場体験の機会の確保
- ・ 中・長期的なキャリア形成のための資格取得等技術向上支援に向けた個別相談や懇談会等の実施

- (4) 社会参加実現に向けた支援（社会参加に向けた支援を必要とする方）

【目標】

市町 P F の設置を契機とした多様な関係機関が参加する地域の支援ネットワークの構築と、居場所づくりをはじめとする、一人ひとりの状態にあった多様な支援の取組が推進されるよう、管内市町を支援することで、本人やご家族と社会とのより太いつながりが生まれることを目指す。

【KPI】

○市町 P F を全市町（23 市町）で設置する。

○就労準備支援事業（生活困窮者自立支援制度）を全市町で実施する。

【取組】

ア 自立相談支援機関、ひきこもり相談支援センター、ひきこもり家族会、ハローワーク、サポステ、経済団体などから構成される市町P Fと連携し、社会参加実現に向けた取組を実施する。※市町の実情により、構成団体は異なる。

- ・ 市町P Fの取組に係る好事例の収集、情報提供【広島県】

イ 各市町の支援が必要な方やそのニーズを把握する。【広島県】

ウ 支援のための体制の充実化を図る。

- ・ 市町の自立相談支援機関における居場所づくり、相談体制、アウトリーチ機能を備えた生活困窮者自立相談支援事業等の充実
- ・ 就労準備支援事業の活用による支援の実施
- ・ 支援者の資質向上のための研修の実施【広島県】
- ・ アウトリーチ支援を含む個別就労支援を実施【東広島市】
- ・ アウトリーチによる伴走型支援の実施【坂町】

5 地域就職氷河期世代等支援推進交付金事業について

内閣府の「地域就職氷河期世代等支援推進交付金」を活用した事業一覧については別表のとおりである。

各事業への円滑な実施に向け、広島県協議会においても必要な協力を行う。

附則 令和8年7月16日から実施する。

【別表】

地域就職氷河期世代等支援推進交付金事業一覧

No	実施主体	事業名（事業の概要）	計画期間
1	広島県	<u>「多様性を受容する職場づくり」事業</u> 就職氷河期世代を含む配慮が必要な求職者向けの支援として、『働きたい人全力応援ステーション』の相談窓口に加え、以下の追加支援を実施。 ・県求人サイト「ひろしまワークス」における、配慮求人の拡充。 ・合同企業説明会を通じて、配慮を必要とする求職者が、企業及び支援機関と繋がる機会を創出。 ・配慮が必要な求職者向けの求人及び職場体験受入先の開拓。 ・企業に対し、働きやすい職場環境整備等に関するアドバイスの実施。 ・職場実習促進支援として、求職者本人へ交通費、日当等の必要経費を支給。 これらにより、企業へのアプローチ及び、定着支援含め支援機関と連携体制を構築することにより、就業の実現と定着を図り、多様な従業員が働きやすい職場環境の整備を進める。	R8.4～ R9.3
2	広島市	<u>「しごとの相談カフェ iroha」事業</u> カフェテリア形式の相談窓口を常設し、中高年世代及び若者、女性で就職を希望する方と求人企業とをマッチングさせる。	R8.4～ R9.3
3	呉市	<u>「呉しごと相談館」事業</u> 「呉しごと相談館」において、就職氷河期世代や中高年齢層を含む幅広い世代の方に対し、専門のカウンセラーによる職業適性診断、履歴書等の作成指導、面接指導、就職情報の提供など、個別就職支援を実施する。	R8.4～ R9.3
4	東広島市	<u>「東広島市就職氷河期世代等個別支援」事業</u> 「ひがしひろしまHOTけんステーション」及び「東広島市生活支援センター」に専門職を配置し、生活困窮やひきこもり等のさまざまな課題を抱える就職氷河期世代を含む全世代の方に対し、関係機関と連携したアウトリーチ支援を含む個別就労支援を実施し、社会参加や就労につなげる。	R8.4～ R9.3

5	坂町	<u>「坂町ひきこもり支援」事業</u> 坂町保健・福祉総合相談室において、民生委員、関係機関、地域住民などからの情報等により、ひきこもりの方やその家族に対し訪問（アウトリーチ）による関係の構築を図るとともに、来庁・電話などでの相談支援を実施し、傾聴や、適切な助言を行う。	R8.4～ R9.3
---	----	---	---------------